

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第 173号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金宥武正）
発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7 F
TEL 045-228-7331 FAX 045 - 228 - 7331 (TEL 兼用)
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2017年4月号

【 今月のコンテンツ 】



- 神奈川イグレンご案内 1
- 「新事業・新技術支援フォーラム」（略称：戦略会議）のレポート 2
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 3～7
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 8

【 神奈川イグレンご案内 】

<イグレン理事会日程のお知らせ>

4月20日(木)午前10時～12時。神奈川中小企業センター6F 大研修室にて。
議 題 ①活動報告 ②財政問題 ③総会について。

<西湘サロン開催日及び会場変更のお知らせ>

5月度より会場と日程の変更を行っておりますのでお間違えの無いようお願いします。

今後のサロン開催日 : 原則第一火曜日となります。5月9日(火) 7月4日(火) 予定。
会 場 : UMECO (おだわら市民活動センター、小田原駅のすぐ近く)
小田原市栄町一丁目1番27号

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)レポート

イグレン事務局 松井利夫

第50回フォーラムは平成29年4月6日に開催。初めに星通商(株)の代表取締役星淳一氏から事業内容の説明をして頂きました。昭和59年に設立し、横浜市中区弥生町で建築工事業/内装仕上げ工事業/とび・土木工事業を営む企業で、無足場外壁改装工事や特殊除菌洗浄MOS工法などを写真で紹介されました。

今回、特に紹介したいのは、10年前に特許を取得し1年前から営業活動を開始した「プロコンシート」(透水型コンクリート型枠)です。現在、高耐久性コンクリートが求められていますが、コンクリート仕上がりの表面からの酸性雨の侵入による中性化現象により劣化やひび割れが生じることが多い。それらの侵入をくい止めるには、コンクリート表面を緻密化しアバタを無くす、あるいは最小限に抑え込む事が必要で「プロコンシート」が開発されました。構造は、ポリプロピレン製不織布をベースに、その表面の気孔の大きさを熱加工によりセメントの微粒子は抜けなくて、水や空気のみ抜けるよう調整された表皮層と水や空気がスムーズに排出される排気層の積層品となっています。コンクリートの長寿命化と型枠はがし後の左官作業などの後処理がなくなり大幅に工期が短縮されることが大きな効果です。

次に日本情報セキュリティ推進協会(JISSA)理事の宇野透氏と(株)日本マネジメントシステムISO事業部の林賢一氏から、ISO27001の団体認証取得について説明して頂きました。日本情報振興協同組合では、会員及びユーザーの情報セキュリティレベルを向上するため、日本情報セキュリティ推進協会によるSO27001の団体認証を実施していると宇野さんから説明。林さんからは業界団体認証制度の説明がありました。ISO27001をはじめとするISOの認証取得には、時間、労力、費用がかかります。特に中小企業の場合、いつか取らなければならないと思いつつも、費用や人的な問題からこの足を踏んでいるのが現状ではないかと思えます。その様な問題にお応えするためISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)の団体認証制度を設計し、2016年1月に、日本で初めてJISSA(日本情報セキュリティ推進協会)32社が同時に認証を取得しました。2017年2月現在で53社が認証取得しているとの説明がありました。業界団体認証のメリットは①企業ごとの費用負担が少ない(約30社の団体会員1社あたりの負担額は年間約20万円で個々の企業の場合に比べて約1/10の費用負担で済む)、②事務局をそれぞれ個別の企業で設置する必要がない、③個別企業の審査対応負担が少ないことだそうです。

最後は科学警察研究所・警察庁技官の原田豊氏から「準天頂衛星システム対応の高精度小型ロガー開発の提案」について説明がありました。それによると、国は、「準天頂衛星」の2号機、3号機、4号機を2017年から2018年にかけて打ち上げ、2010年に打ち上げた1号機と合わせて「4機体制」による運用開始が目前に迫っていることから、この「準天頂衛星システム」を利活用して「義務教育」を通じた宇宙教育+安全教育+地理教育×「体験学習」(アクティブラーニング)を「準天頂対応受信機」と「聞き書きマップ」で実現するための提案を考えているとのことでした。柏市では、科学警察研究所が自主防犯活動などを行っている方々のために開発した「まちあるき」の記録作成支援ツールである「聞き書きマップ」を用いた「通学路の安全マップ」づくりが、平成27年度から文部科学省による「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」のモデル事業の一つとしてスタートしています。モデル校になった小学校では、小学4年生により「安全点検マップ」づくりなどを体験学習したそうです。「聞き書きマップ」は①GPS受信機、②ICレコーダー、③デジタルカメラ、という「3つの小道具」を組み合わせて使いますが、更に、「準天頂衛星システム」対応の安価なGPS受信機の開発を進めるため、東京都の「新製品・新技術開発助成金」の申請を準備中とのことでした。

イグレン会員グループ・プロジェクト状況

【 川崎異業種研究会 】

川崎商工会議所 桂 千香

< 2月定例会 >

2月定例会は、例年移動例会として市内外の視察を行っている。今回は会員11名の参加を得て、小田原市を訪れた。2月9日(木)、箱根登山鉄道 風祭駅で集合した一行は、駅に直結した「鈴廣かまぼこの里」に向かった。当施設は、2007年にオープン、かまぼこ、干物、菓子や雑貨などの買い物が楽しめるほか、職人の実演見学や、かまぼこづくりの体験ができる。

当日は、かまぼこ、ちくわ手作り体験教室に参加した。作業台には、各自アイスクリーム大の魚のすり身、へら、板と棒が置いてある。すり身を練り、板にのせて蒸せばかまぼこ、棒に巻きつけ焼けばちくわとなる。皆初めての作業に、笑いあり関心ありで、会員同志の距離がより近づいた。

鈴廣をあとにし、続いて小田原城を訪れた。小田原ガイド協会の案内により、駅から城内まで、街中に点在する歴史と文化の説明を聞いた。昨年4月に平成の大改修を終えた天守閣では、小田原城を中心に、小田原の歴史的魅力を伝えるストーリー性のある展示物に皆興味深く視察した。

その後場所を移し懇親会を実施、和やかな雰囲気で開催のうちに散会となった。当日はあいにくの小雨模様であったが、会員同志のつながりが深まる有意義な視察会であった。



初の蒲鉾作りに挑戦



小田原城にて

< 2月分科会 >

2月2日(木)午後6時30分から、株式会社LR小川会計 会議室にて、会員6名、和光大学学生7名の参加を得て、開催した。今回は、株式会社LR小川会計 代表取締役 小川湧三氏を講師に迎え、「囲碁と経営」と題して講演いただいた。囲碁の知識のない会員もいたので、囲碁の基本から説明いただいた。そして、講師と囲碁の出会いや世界の碁会所についての貴重な話が語られた。その後、碁の戦略と経営戦略との関係について語られ、一同興味深く耳を傾けた。

懇親会では、講師の世界中の碁会所での具体的な話が聞け、大変有意義な交流会となった。

異業種交流会シフト21 [【http://shift21.jimdo.com/】](http://shift21.jimdo.com/)

有村 知里

《2017年5月定例会》

- 日時 2017年5月9日(火) 18:30~20:20 懇親会 20:30~22:00
- 場所 ビジネス&コミュニティ 横浜駅前オフィス セミナールーム
横浜市神奈川区鶴屋町2-21-1 ダイヤビル303
- プログラム
「私たちが考える“良い会社”とは」
ファシリテーター 藤沢雅憲様 ((株) ガードアイ)
小規模企業、個人事業主、起業家が目指すべき「良い会社」とは何か。
指標化できること、できないことはありますが、目指すべきこと、目指すべき度合い
を「見える化」する試みです。全員参加でワーク、ディスカッションします。
- 参加費
定例会 / 初回参加の方 無料、2回目・3回目 1,000円、4回目以降 4,000円
懇親会 / 初回参加の方 1,000円、2回目以降 実費(3,000円程度)

異業種交流会シフト21とは

シフト21は平成8年から活動している異業種交流会です。
多彩な経営者・起業家が集い、外部講師による講演や会員のプレゼンなどで
研鑽を図りながら、ビジネスに繋げる交流を図っています。
お問合せ・お申込みは事務局・有村まで。(shift21info@gmail.com)

【第181回 日韓ビジネス協議会】

高橋 導徳

1. 日時：2017年4月26日(水) 午後4時~5時15分 協議会 ~6時15分 交流会
2. 場所：神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
かながわ異業種交流センター(神奈川県異業種連携協議会) TEL: 045-228-7331
3. 次第：
 - 会長挨拶・・・瀧澤 清氏
 - 2017年度総会 議長：瀧澤会長
 - 第1号議案 2016年度 活動報告・・・事務局
 - 第2号議案 2016年度 会計報告・・・”
会計監査報告：大島英雄氏
 - 第3号議案 2017年度 会則および役員・・・事務局
 - 第4号議案 2017年度 活動方針・・・”
 - 特別講演
神奈川県異業種連携協議会 理事 瀧澤 清氏
タイトル：「どうすれば特許・実用新案にすることができるか」
要 旨：特許・実用新案を取得するためには、新規性があることを実証しなければ
ならない。そのためにはどうするか具体的な一例をあげて説明する。

第75回「三浦半島経済人サロン」

イグレン会員 平野和夫

3月22日(水) 神奈川新聞社横須賀支社5階会議室で開かれ、元横須賀市産業振興財団事務局長・堀込孝繁氏が「横須賀の経営環境の過去・現在・未来～これからどうする」で講演しました。3月末の定年を前に11年間の勤務体験から横須賀経済の現状、問題点などを指摘しました。堀込さんは「神奈川県庁で中小企業診断士として県内の企業・団体に対して経営に関する仕事をしていましたが、今から11年前ご縁があり産業振興財団に移ってきました。それまでほとんど横須賀市での仕事はなかったため、赴任当初は地理も何もわからず苦労しました」と、前置きして横須賀について語りました。



堀込さんはまず、経済センサスに見る「横須賀市内の事業所数と従業者数の産業別推移」を「平成21年度と同26年度」で比較しました。

それによると■卸売り・小売業は全産業に占める割合が最も高いが、開業・廃業数も最多である■医療・福祉の増加が目立つ■研究者が1,500人も増えた■製造業は従業者数の減少が最多である■農業・林業・漁業は従業者の減少率が最大である（半減近い）一などの特徴があると指摘しました。

さらに現在の横須賀経済について、次の5点を指摘しました。

■市内の製造業は「昔・船と自動車」と言われるように、S社、N社、K社などが元気良かったが、今その面影は薄く、代わって「今：鉄道車両」（車輛の各種ドアや保護棒など）の製造企業が元気よく、Y社は受注残が多い。

■後継者不足、後継者がいないなどが問題になっているが、経営者が常にこのことを念頭に置いて、将来どうするかを考えていればおのずと解決する。目先のことばかり考えて経営していると、よき後継者は生まれない。

■人材不足を嘆く企業がある一方、市外に流出する若者が多く、人口減少が大きな問題になっているが、今の横須賀の企業は若者が入社してくるような内容になっていない。若い人が入社して俺もやってみたいと感じさせる内容にしないと、このミスマッチはいつまでも続く。

■横須賀は道ごとに商店街組合があるといわれるほど、団体が多く、しかもその長は高齢で、過去のしがらみから仲が悪く、協調的でない。この結果、店が廃業、シャッター街になってしまっている。その点、若手経営者に横断的に一緒に活動する動きが見られ期待したい。

■良くも悪くも「(三浦)半島経済」という実態が横須賀の発展を「規定」する要因になっている。三方を海に囲まれ、北しか出口がなく、袋小路状態になっている。その中にいけば安住的で、仲良くやっていける。他から入ってくるよそ者に対しては、自分たちと違うと、一致して排除する。多くは外部に出ていかない。中でまとまってしまう。

講演終了後、意見発表、フリーディスカッションが行われました。



次回は、5月18日、講師は田中設計事務所の田中社長と発表されました。

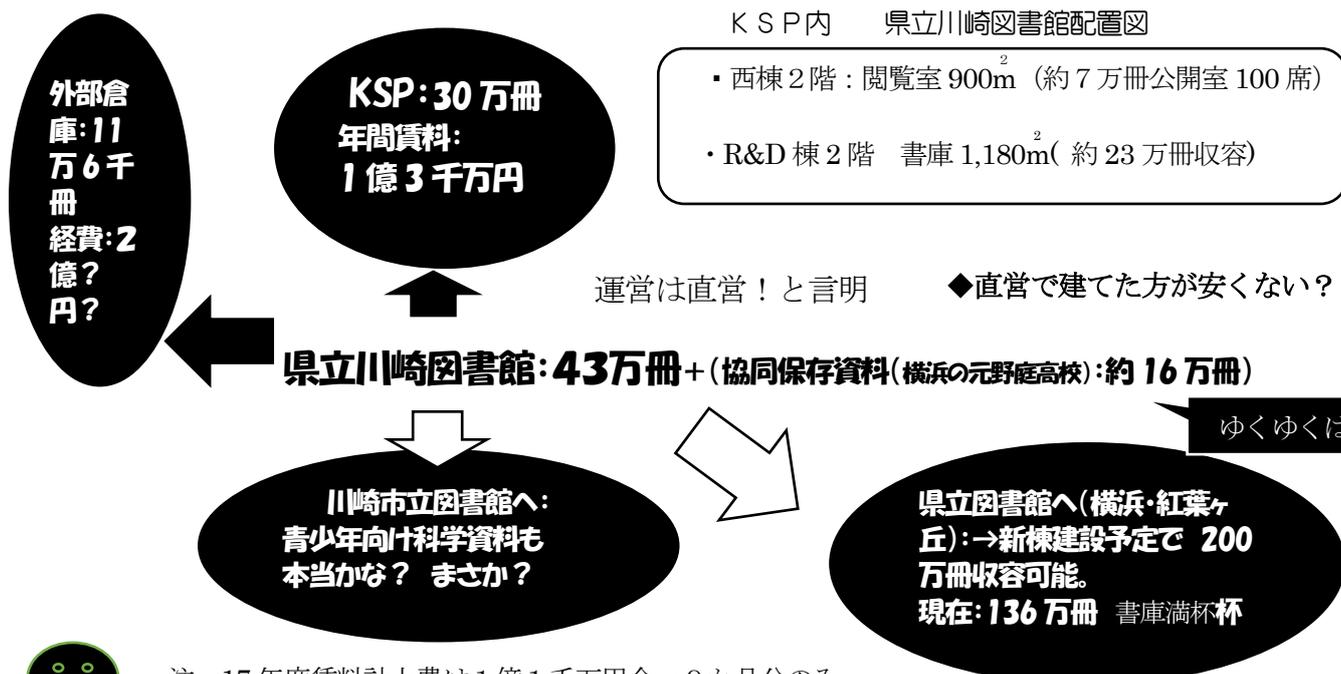
3月県会で、県立川崎図書館、KSP移転へ 賃料年間1億3千万円を投入、
2018年5月オープンとの提案が通ったが…

保土田政子 氏

イグレンの理事芝氏から、「ニュース」172号を送付して戴いた。「県立川崎図書館」の廃止免れると題し、二つの県立図書館の動向を簡略に掲載して戴いた。ついでに少し詳しく書いたらとお誘いいただき、お言葉に甘んじ、今の時点での概要をお伝えしたい。

二つの県立図書館が再編整備を無事に果たすには、10年近くの歳月を要することにもなりそうである。

『KSP移転の概要』-3月県会提案などからの概念図(これからも変わる可能性があります)



注: 17年度賃料計上費は1億1千万円余→9か月分のみ

みなさん、この図をどのように感じるだろうか? 結局は危惧していた分散免れず。究極の姿とは思えない

◆神奈川臨調から5年が立ち…川崎市民の願い、みんなの願う県立川崎図書館として発展できるのか?

2012年の神奈川臨調により、県有施設127の統廃合の波に真っ先に図書館がさらされ5年がたった。私の他、相原さんがご自分の研究で県立および県立川崎図書館や文学館なども利用され、ご自分の研究はさて置き、お一人で図書館の利用者に働きかけていらした。紹介する方があり、とどども、県立図書館の存続につき、陳情・請願運動をすることになった。その後、2015年6月に県立川崎図書館を川崎市に残してとの請願が論議もなく却下され、その8月、陳情されていた川崎市民の方々と「川崎の文化と図書館を発展させる会」を結成し、引き続き県教委と市議会・市教委に請願で働きかけ、今にいたっている。

この間、「神奈川の県立図書館を考える会」や神資研などからの政策提言なども提案され、進展を望んでいたがはかばかしくなかった。なぜか? 当会では学習会を重ね、その背景を探る内、小泉改革に象徴されている国の「公共サービス」を民間へというここ20年の間の政策が元凶であり、全国の図書館が窓口委託にはじまって丸ごと指定管理や、新築を建設する場合の手法を民間資金の長期借り受け、業務はその受託会社へ引き渡すPFI手法など、民間へ移行するさまざまな手だてが国をあげて編み出されていた。海老名市に導入された「つたや図書館」は今も全国展開をしているが、各地で市民の反対運動がおきている。海老名市民は裁判に提訴している。民間委託は図書館壊しが実証されつつある。

全国も同様だが県内の図書館を見まわしたら、正規司書はどんどん減り、非常勤や臨時職員が70%という異常な職員構成、大量のワーキングプアの発生、司書の育成が困難という事態、民間に丸投げすることにより、自治体の図書館企画管理能力の喪失、契約通り実施されているかどうかさえも確認できる力もないという事実面に直面している。まして経費節減どころか税金を民間業者の儲けの爲に使われている実態が浮き彫りになった。こうした実態を受け、昨年、総務省は補助金で指定管理導入促進策の対象に社会教育施設などを指定したが、今年度から、この対象から図書館など社会教育施設をはずした。司書や学芸員など自治体で育成すべきと認め政策転換をした。この変更は極めて重要である。県に考え方の変換を迫ったことになったのではないかと推察している。県川もとりあえず直営ということで安堵している。

しかし、課題は山積みである。KSP 移転の県の真意はどこに？ 伏せんとして3月まで各自自治体が総務省に提出する「公共施設総合管理計画」の動きは見過ごせなかった。人口減による自治体と地域の再編とセットである。公共施設の建て替えストップ。全国的に公共施設削減計画が強制される。必要なことでもあろうが社会教育施設や市民の身近な図書館・公民館施設が統廃合の波に再度さらされる。KSP 移転はこの計画の先取りなのか？

紙幅もなく、明解な説明が非常に困難である。入り組んだ事柄の背景には民意無視、運営の不透明性、県民公開の少なさ等に阻まれていることが要因だ。

また、この間、県立図書館員の肉声が聞こえないことを心配する声が聞こえる。だが、県教委の提案も、現場の提案を土台にしよう。たまたま「県立図書館の60周年」の冊子を目にし、2014年KSP移転の方向性が議会提案された後、両県立図書館の司書のトップたちが思い切った提言を県に提出していた。専門職ならではの目線で、神資研との協同作業の成果などを踏まえ、生かそうという提案がされている。参加して一緒に討議できることも期待したいが、こうした営為をご紹介します。県民として、市民としての意見を練り上げていきたいと思っている。ぜひ、ご参加いただきたい。お待ちしております。

4月20日(木) これからだ！県立・川崎図書館の発展を！目指すところは？
総括集会 於中原市民館第3.4会議室 18時30分～

<神奈川イグレン 理論誌について>

神奈川イグレンでは年に数回、実績報告を兼ねて理論誌を発行しています。間もなく次の理論誌が掲載される予定です。前回掲載された第3号をお知らせしますので一度覗いてみてください。PDF ファイルにて掲載中です。

- 1 [異業種交流シフト21と企業視察研修会について](#) 有村 千里
- 2 [「神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進条例」の充実のために](#) 愛 賢司
- 3 [学生は中小企業の広告をどう評価しているか](#) 芝 忠
- 4 [新しい時代の茶の湯](#) 渋谷 英昭
- 5 [国際協力機構（JICA）本邦研修実施報告 2](#) 加藤 文男

[編集後記](#)
[神奈川県異業種連携協議会の沿革](#)

	尾上町サロン	西湘サロン 第 68 回	海老名サロン 第 40 回	三浦半島経済人サロン 第 76 回
日程	次回は 6 月に開催します。	05 月 09 日 (月) 18 : 00 ~ 20 : 00 開場は 17 : 30 ~	日程は後日お知らせ 15 : 00 ~	5 月 18 日 18 : 00 ~ 開場は 17 : 30 ~
場所	中小企業センター 703 イグレン事務局	おだわら市民交流センター UMECO 小田原市栄町一丁目 1 番 27 号	神奈川県産業技術センター 2F 講義室 6 海老名市下今泉 705-1 (変更の可能性あり)	神奈川新聞社 横須賀 支社 5 階会議室 横須賀市小川町 21-9
連絡先	イグレン	イグレン (吉池)	愛 賢司	堀込、芝、鶴野、西澤
内 容	参加費 : 1,000 円	「酒匂川から全国へ発信! 治水神 107 の碑」 治水神・禹王研究会会長 大脇 良夫 氏 参加費 : 1,000 円	会費 : 2,000 円	「調整中」 有限会社 中央設計 代表取締役 田中忠夫 氏 参加費 : 1,000 円

ぐずついた天気の中、お花見シーズンもあっという間に終わり、何だか今年は気分的に不完全燃焼だったという方もおいでかも知れませんね。皆さんはお花見を楽しむことが出来ましたか？

こうして花を愛でるといふ風習は古くは平安時代から続くものですが海外では中々この様な風習はないかもしれませんね。ひとたび隣国に目を向けるとこの時期、お花見どころではなく何だか不穏な状況が続いています。北朝鮮の問題は今までになく緊迫した状況ですし、もはや我々にとって対岸の火事だと傍観できない状況となりつつあります。以前のイグレンニュースにも掲載しましたが経済的な事や IT 関連も含め今はまさに転換期に入っているのかもかもしれません。今後の様々な動向に目が離せなくなってきています。そんな中で勝ち残るためには今までの様な同業種だけに目を向けていても新たな発想が湧いてきません。それには異業種の連携が必要です。一見関係のないビジネスから様々なヒントが得られたりする異業種と交流を広げてみてはどうでしょうか？そんな皆さんをイグレンはこれからも応援して参ります。

「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました・・・など原稿を募集中です。



伺える範囲であれば取材にも参ります。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。

神奈川イグレンへの連絡問合せは、Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp

神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください (無料)

【月】 ①②③宮川 豊④⑤荒 直孝【火】 ①②④⑤児玉 英二③愛賢司 【水】 ①菊地②指方③加藤④愛⑤芝

【木】 ①②③④⑤ 松井 利夫【金】 ①愛賢司②指方 順一郎③④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7 階インキュベーションルーム 703 号

神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail : iguren@kanagawa-iguren.com